

泉佐野発

日本一の「ひとづくり」のまち

まちのスケッチブック 新年の誓い vol.37

泉佐野市議会議員

千代松 大耕 (32歳)

ちよまつ ひろやす

変わらない挑戦。
進化する改革。



● 新年の誓い ●

2006年のスタートにあたり市民のみなさまにおかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また平素から千代松大耕の活動に對しまして、多くの市民のみなさまから暖かいご支援、ご協力を賜っておりますことを心から感謝申し上げます。

2004年は地震・台風など大規模な自然災害が続き、否応なしに「自然」と向き合うことを余儀なくされた1年でありましたが、2005年に關しましては、JRの列車事故に始まり、アスベスト問題、相次ぐ児童殺害事件、耐震偽装など自然ではなく「人が災いをもたらした1年」ではなかったかと思ひます。

泉佐野市に目を向けると、現在は財政非常事態宣言下における3カ年の財政健全化計画の途上にあります。その中で平成16年度の決算では、単年度で5億円の黒字を計上することが出来ました。残りの25億円にのぼる累積赤字についても、平成17年度で10億円、平成18年度で15億円というように2カ年でようやく解消できるといふ目途がついてまいりました。

しかし累積赤字を解消出来たといつても長引く税収減の影響を受けて、昔のような「あれも、これも」といった行政は行なうことは困難であります。特に現在の泉佐野市は財政健全化計画のもとで「あれしかできない、これしかできない」といったような状況であります。これからは「あれか、これか」という選択をより厳しい視点で行なう

いかなければなりません。

そういった中でこれからの泉佐野市を考えたとき、一定大規模な「ハコモノ」に投資をする時代は終わったかと思ひます。これからの泉佐野市は「人」に投資する時代を迎えなければならぬと考えます。その最たるものが学校教育であると考えます。現在の泉佐野市の教育には児童生徒の健全育成、安全確保、老朽化した施設の改善など多くの課題が山積しております。また「人」を育てるために立派に整備された社会教育施設のさらなる有効利用も考えていかなければなりません。財政健全化計画のもとで、泉佐野市の貴重な財産である社会教育施設は市民の方々が十分に利用しやすい状態にはなっておりません。指定管理者制度が実施される中であつて、民間のノウハウを活かして今まで以上に有効利用できる方策を導き出す努力が必要であります。

こういった「ひとづくり」に力点を置いた施策を実施していくことがこれからの泉佐野市に必要なことではないかと考えます。「ひとづくり」は「まちづくり」の根幹であると思ひます。

「日本の「まちづくり」の根幹である」と思ひます。を泉佐野市から発信できるように、実現できるように、そして地方分権時代の自治体間競争に勝ち抜いていく「新しい泉佐野づくり」のために、より一層、市議会議員としての活動を展開していきたいと新年に固くお誓い申し上げます。

活動報告

小学校視察②

昨年、市議会におきまして厚生文教委員長を拜命してから、市内の5中学校、そして3年前に視察を実施した大木小学校以外の12の小学校を厚生文教委員会で視察を実施いたしました。前号では、「校門受付員」さんについて報告させていただきましたが、今回は「地域との連携」とい

うテーマについての報告させていただきます。ここ数年前から学校教育では、学校・家庭・地域が連携をして児童生徒を育てていくことが重要であるという観点から様々な取組が行なわれてきました。学校協議会、地域教育協議会の立ち上げなどが行なわれ、各校区におきまして色々な連携を図るための取組が実施されております。

各小学校を訪問させていただいて、地域との連携については、各学校において工夫をされた取組が実施されておりました。高齢者の方々が実際に学校に出向いて児童に色々なことを教えてくれる取組、図



書室の有効利用に地域の方々が協力してくれている取組、また特にここ数年、児童の安全確保という点では、地域の方々が積極的に協力してくれ校区内の多くの場所で立ち番やパトロールを実施してくれていると全ての小学校から報告を受けました。

全国各地で、痛ましい事件が起つている中、児童の安全確保は教育における最重要課題であります。昨年末に泉佐野市におきまして市内二斉パトロールが実施され、市内全体で723名の地域の方々が協力してくれました。これは不審者に対する大きな抑止力となったと考えているところであります。

私事ではありますが、昨年より泉佐野市の青少年指導員として、また昨年からは佐野中学校区の青少年指導員会の幹事長として地域の新たなフィールドの中で活動させていただいております。議員としてだけでなく、地域の方々とともに問題点や課題を共有し、今後とも教育における学校・地域・家庭の連携が深まる提言を続けていきたいと考えています。

夢をかたたちに(4)

私は議員の仕事は大きく3つに分けられると考えられています。第一に「住民の代表」として住民の方々から寄せられる随意のニーズに対して行政と掛け合います。次に「行政のチェック」として議会、委員会、行政が策定した予算や条例をチェックします。そして最後は「政策提言」であります。行政に対して政策を提言していただける能力を身に付け、それを実践することが、これからの議員に「希望されること」ではないかとも思っています。

この3つの仕事を私がどのようなかたちで行なっているのかを今回は紹介させていただきます。

■「住民の代表」

月に一回、市政懇話会「かけはし」を開催し、市民の方々とともに、これからの泉佐野市を考え、また多くのご意見、ご要望を聞かしていただく機会を設けていただいております。また昨年からメールマガジンを発行して、市政の情報をいち早くお届けし、そしてそれに対してご意見をいただき、参考にさせていただくという取り組みも始めました。

■「行政のチェック」

議会や委員会におきまして、行政が策定した予算や条例を審議いたします。よく国会における審議の場面が放送されたりしていますが、泉佐野市議会におきましても市役所5階の議場や委員会室で様々な審議が行なわれ、それぞれの議員が審議事項に対しての賛否を表明いたします。議員の仕事の中では最も馴染みのある部分ではないかと思えます。どのような議論が交わされているのか、簡単に傍聴が出来ますので市役所5階まで気軽にお越しください。

■「政策提言」

政策提言を行なうには、自分の住んでいるまちが今どのような状態か、今後何が必要かをしっかりと把握しておく必要があります。議員にならしていただきたい当初は「地方財政」については全くの素人でした。しかし泉佐野市の財政が危機的な状況の中、財政に関する知識は議員にとりては必須であると考え、社会人大学院に4年間通い「地方財政」を徹底的に研究いたしました。この経験が今の議員活動にとって私の大きな武器となっております。また基本的に私が行政に対して政策提言を行なう場面は議場における質問であ

千代松大耕 2005年 全議会質問(表1)

3月議会(会派代表質問)	6月議会(会派代表質問)
ひとづくりの推進について 保健・医療・福祉の充実について 教育と文化の振興について 生活の向上と産業の振興について 都市基盤・都市環境の整備・充実について	泉佐野市の観光振興について 泉佐野市の農業振興について パブリックコメント制度について 環境ISO14001について
9月議会(会派代表質問)	12月議会(会派代表質問)
アスベスト問題について 学校教育について 社会教育施設について 個人情報の保護について	教育について 行財政について 市立病院について 泉佐野市の雇用対策について りんくうタウンについて 環境問題について

*詳しい質問の内容は「泉佐野市議会ホームページ会議録 <http://www.city.izumisano.osaka.jp/section/gikai/>」でご覧になってください。

ります。議員の質問はわからないことを聞くというのではなく、質問の中で筋道をつけて最終的に「提言」に結びつけるというスタイルで政策提言を行なっております。

■「議員の義務」

私は議員にならしていただく前に株式会社 堀場製作所という会社で海外営業をしていました。もちろん仕事をしながら給料をいただいていた。そして仕事をしたら必ずその報告を上司にしていた。それが会社のルールでありました。現在の私は、泉佐野市民のみなさまの税金で議員として市民のみなさまに雇われています。だから市民のみなさまに対しては仕事の報告をしなければなりません。またそれが議員の義務であると考えています。だから私は「まちのスケッチブック」を発行し、私の活動や泉佐野市の状況を市民のみなさまに広く報告しております。泉佐野市の各駅頭での早朝配布も200回を超えました。今後もこのスタイルは変えずに続けていきます。



第10回 「かけはし」



「かけはし」今後の予定

第12回「かけはし」	1月26日(木)
第13回「かけはし」	2月23日(木)
第14回「かけはし」	3月23日(木)
第15回「かけはし」	4月27日(木)

場所

泉の森ホール
2F 小会議室

参加費 無料

千代松大耕が市民のみなさまと市政をつなぐ架け橋となるため、市政懇話会「かけはし」を月に一回開催しています。どなたの参加もOKです。お待ちしております!

千代松大耕メールマガジン

「千代松大耕のニュースレター」を発行しています!

市政や議会の情報をいち早く市民のみなさまに、お伝えするためにメールマガジンを発行しております。(週に3~4回は、発行しています)

メルマガの登録は、千代松大耕のホームページ、又は下記のアドレスから!

ホームページアドレス: <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>

登録ページアドレス: <http://www.mag2.com/m/0000156662.html>

ひとりでも多くの方に登録していただければ幸いです。

*検索サイトで「千代松大耕」と検索していただければ、私のホームページにヒットします。また、携帯電話からは登録できません。

千代松大耕のプロフィール

1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
 1986.3 泉佐野市立第一小学校卒業
 1989.3 泉佐野市立佐野中学校卒業
 1992.3 同志社香里高等学校卒業
 1996.3 同志社大学経済学部卒業
 1998.7 Lincoln University MBA Program 修了
 2003.3 大阪府立大学大学院修了
 2005.3 和歌山大学大学院修了

1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選

(議会)
 2003.3 予算特別委員会
 2003.5 市町村合併検討委員長
 2004.5 第61代副議長
 2005.5 厚生文教委員長

(現在)

(社)泉佐野青年会議所監事
 (NPO)大阪夢づくり協議会理事
 泉佐野市バレーボール連盟会長
 泉佐野市柔道連盟理事
 佐野中校区青少年指導員会幹事長
 泉佐野市交通安全指導員
 同志社大学体育会アメフト部OB会常任理事
 自由民主党泉佐野支部政務調査会長

連絡先 泉佐野市松原2-5-31
 TEL 58-1708
 FAX 69-0311

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>
 メール chiyoma51@hotmail.com

発行部数累計 453,500部 2006.1第37号

*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。